

令和3年度当初予算の あらまし

令和3年第1回市議会定例会で、令和3年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は488億9,862万円。前年度当初予算比で1.5%の増加となっています。「コロナ乗り越え 安全・安心、経済再生加速化2021予算～未来につながる～ 住みたい、住み続けたい 笑顔の花咲く温か都市 イーハトーブはなまきへ」を掲げて編成した本年度予算についてお知らせします。

令和3年度予算の概要

■歳入について

自主財源の柱である市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税の減免や入湯税の減少などにより、全体で前年度比4.7%の減少を見込んでいます。一方、寄附金は、令和2年度の「イーハトーブ花巻応援寄附金」の寄付状況を踏まえ、前年度比15.0%の増加を見込んでいます。

依存財源で代表的な地方交付税は、前年度比1.9%の増加。地方特例交付金は、固定資産税の減免による減収補填特別交付金の計上などにより、前年度比34.9%の増加を見込んでいます。国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金や地方創生臨時交付金の計上などにより、前年度比19.7%の増加。市債については、若葉学童クラブ施設整備事業を計上したほか、後年度に国が全額負担する臨時財政対策債の大幅増により、前年度比4.1%の増加が見込まれますが、市が独自に発行する市債は前年と比べ16.3%の減少となります。

■歳出について

義務的経費は、会計年度任用職員に対する期末手当の増加などにより、人件費で前年度比0.6%増加。子どものための教育・保育給付費などの増加により、扶助費で前年度比1.8%の増加を見込んでいます。

投資的経費は、二枚橋地区産業用地整備や道の駅「はなまき西南」整備、消防はしご自動車更新の完了などにより、前年度比19.9%の減少を見込んでいます。

その他の経費のうち物件費は、新型コロナウイルスワクチンの接種業務委託や、ふるさと納税に係る郵送料・手数料の増加に伴い前年度比11.6%の増加。補助費等は、温泉宿泊施設等利用促進事業補助金や、ふるさと納税の返礼品の増加などにより、11.1%の増加を見込んでいます。

令和3年度予算の特徴(抜粋)

- ① 新型コロナウイルス感染症対応 市民の生命・くらし・経済対策 事業者に対する支援 Pay Pay(ペイペイ)を活用したポイントキャンペーンの実施
- ② 新型コロナウイルス感染症対応 市民の生命・くらし・経済対策
- ③ インフラなどの整備 着実な継続事業の進捗
- ④ 安心できる暮らし環境の充実 公共交通の充実 医療を受けやすく
- 生活基盤の充実 住宅の安定確保

や家賃補助、温泉宿泊施設等の利用助成などを令和2年度に引き続き実施します。

市民に対する支援

緊急小口資金や総合支援資金貸付金(社会福祉協議会が実施)の利用者に対し貸付金の4割の支援金を給付する事業や、就学援助世帯へ1人当たり5万円を給付する事業を令和2年度に引き続き実施します。

感染症予防対策

地域や学校、保育園などへの感染症予防対策物品費を計上します。

ワクチン接種経費

令和2年度補正予算に計上したワクチン接種準備費用に加え、ワクチン接種に当たる医師などに支払う費用を含む経費を計上します。

② 将来世代を育む

子育て支援を強力に推進

母子保健の推進

産後ケア事業の開設日数を増やし、訪問型は産後1年まで利用できるよう期間を延長します。妊婦一般健康診査については、

40週以降に妊婦健康診査が必要とされる人に15回目の健康診査費用を助成。多胎妊娠の場合は健康診査支援として、さらに5回の健康診査費用を一部助成します。

特定不妊治療への助成については、事実婚関係にある夫婦と男性不妊治療を対象に追加します。

保育環境の充実・就学支援

保育士不足を解消するため、私立保育園などの保育士に対する再就職支援貸付や保育料の減免・補助、奨学金返済支援補助を引き続き実施します。

保育環境においては、安全・安心で快適な環境を創出するため、私立保育園などのAED整備を引き続き支援。さらに、門扉やフェンスなど外構の設置・修繕、非常通報装置などの整備を推進し、緊急時の安全確保と防犯対策の強化を図ります。

仮移転中の花巻学童クラブは、同学区内のひまわり学童クラブと統合し、若葉学童クラブとして若葉小学校敷地内に整備します。

返還免除型奨学金「はなまき夢応援奨学金」は、対象者に日本学生支援機構給付奨学金採択者を追加するほか、同奨学金との併用が

できるよう制度を拡充します。

③ インフラなどの整備

継続した取り組みを着実に

着実な継続事業の進捗

道の駅「石鳥谷」の施設再編に向け、南部杜氏伝承館・酒匠館・りんどろ亭食堂の改修を継続するほか、広場の整備工事に着手します。

国道4号花巻・北上間の拡幅実現に向け、引き続き県・近隣市町と共に国へ要望。さらに、(仮称)花巻P.A.スマートインターチェンジ整備の事業進捗を図るため、令和2年度補正予算と一体で市道山の神・諏訪線の道路改良や用地買収を進めるとともに、埋蔵文化財調査と一部工事に着手します。

新たな事業の推進

(仮称)花巻P.A.スマートインターチェンジ整備を見据え、花南地区における産業団地の整備を検討。基本設計・測量調査費用などを計上します。

老朽化が進んでいる桜台小学校の校舎については、学校施設長寿

命化計画に基づき、長寿命化改修に向けた実施設計に着手します。

④ 安心できる暮らし環境の充実

公共交通の充実

医療を受けやすく

市街地循環バスや予約乗合バスの運行費補助などにより、高齢者・若年者など交通手段を持たない市民の交通手段の確保を図ります。さらに、路線バスや予約応答型乗合交通の乗り継ぎ拠点のイトーヨーカドーバスターミナル内に待合所を整備します。

また、交通手段が不足している地域に居住し、医療機関までの距離が遠く交通費の負担が大きい重度障がい者の交通費を新たに助成します。

生活基盤の充実 住宅の安定確保

快適な住環境の形成を推進するため、適正な道路幅員を確保するなどの優良な宅地開発に対する補助制度を創設。さらに、空き家により阻害されていた景観や住環境を改善し、街の新陳代謝を図るため、空き家を解体して住宅などを新築した場合の費用を補助する制度を創設します。